

# 羅針盤

## 準備は進んでいますか!?

## 小学校プログラミング教育

必修化まで、  
あと**11か月**  
だよ!



RoBoHoN  
©SHARP CORPORATION

「プログラミング教育」については、この言葉を新聞やテレビ等のメディアで目にしない日はないほど社会的に注目度が高まっています。そして、小学校プログラミング教育必修化までいよいよあと11か月となりました。残された期間内にやるべきことを、以下の図を基に確認しておきましょう。

### 【小学校プログラミング教育の円滑な実施に向けたの実施工程表（例）】

#### 2018年度

#### 2019年度

#### 2020年度

- 特定の学校、教師が  
先行的に模擬授業を実施

- 全校の代表の教師が模擬授業を実施
- 全ての教師が模擬授業に参加し、プログラミング教育を体験

- 全校で  
プログラミング教育を  
実施

参考『小学校プログラミング教育必修化に向けて（未来の学びコンソーシアム）』 [https://miraino-manabi.jp/assets/data/info/miraino-manabi\\_leaflet\\_2018.pdf](https://miraino-manabi.jp/assets/data/info/miraino-manabi_leaflet_2018.pdf)

岡山県教育庁義務教育課からは、以下の通知が出されています。

小学校新学習指導要領におけるプログラミング教育の必修化に向けて、各小学校において、**校内で必ず1クラス以上の授業公開**を行い、**校内全教職員が参観する研修**を行う

しかし、現段階で次のような課題を感じている学校も多いのではないのでしょうか。



#### 教師の心理面での不安感

- ・難しそう。指導できるか不安…。
- ・授業イメージがもてない。  
（どの教科で？教材は何を？）

#### 教材・環境面での不安感

- ・教材が学校にない。
- ・ネットワーク環境が不十分



こうした課題を解決するために、以下の取組を進めましょう。



校内研修、模擬授業等を通して

- ・プログラミング教育についての理解の促進
- ・自ら体験をすることで不安解消&授業イメージの獲得

- ・先行事例等を基に教材検討、予算化
- ・「教育のICT化に向けた環境整備5カ年計画（文部科学省）」に基づく環境整備



岡山県総合教育センターでは、先生方の不安感を解消し、今後の準備や授業づくりのヒントとなるよう県内の先行実践13事例を集約した「**小学校プログラミング教育実践事例集2019**」を作成しました。「プログラミング的思考を育成する授業づくりのポイント」を中心にまとめられており、有識者の方からの貴重なコメントや、実践者・実践校の校長の声も掲載しています。**是非ご一読の上、ご活用ください。**

教材や授業づくりに関するお問い合わせは、岡山県 総合教育センター情報教育部 (0866-56-9107) までご連絡ください。



岡山県の教職員の方に限定で、授業のダイジェスト動画（3分程度）を公開しています。児童がプログラミング体験を通して学ぶ姿をご覧いただくと、プログラミング教育の授業のイメージがさらにつかめます。  
※詳しい動画視聴方法については、冊子をご覧ください。

詳しくは…

[http://www.edu-ctr.pref.okayama.jp/chousa/kiyou/h30/2019\\_jissennjireishuu.pdf](http://www.edu-ctr.pref.okayama.jp/chousa/kiyou/h30/2019_jissennjireishuu.pdf)

ダウンロード可・QRコードでも読み取り可



岡山県教育庁義務教育課から発行された『小学校プログラミング教育「はじめの一步(第一版)」』 [http://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/601245\\_5028419\\_misc.pdf](http://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/601245_5028419_misc.pdf)も併わせてご覧ください。

